

第1回ワークショップが開催されました。

流域住民の方々とワークショップ形式の意見交換により、市民が広く日常生活の中で矢作川に親しむことのできる景観に配慮した河畔林等の整備を目指します。

9月～10月にかけ、旭・足助・小原・藤岡地区内の4地区において第1回ワークショップが開催されました。

「矢作川河畔林づくり」の想いを語る。

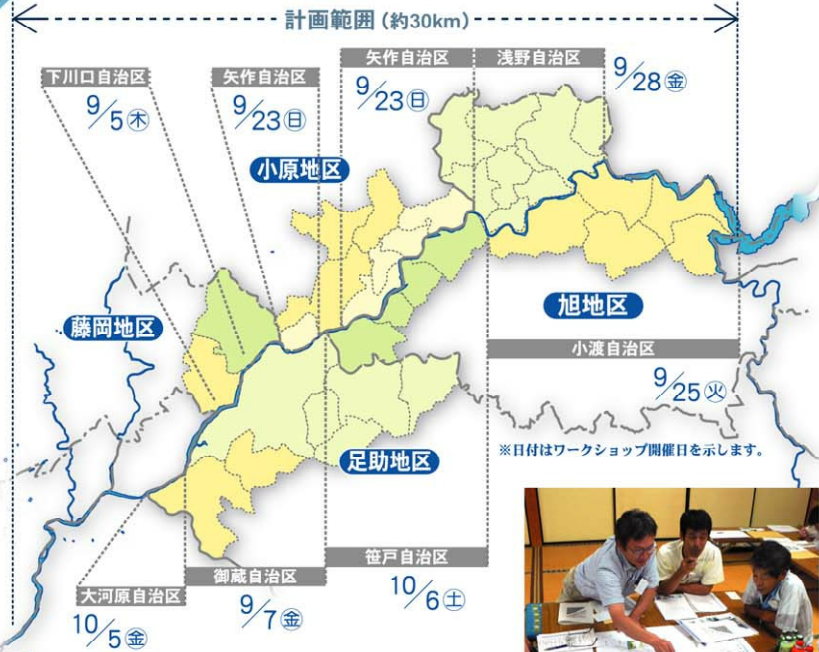
矢作川河畔林整備事業

がわなみ



第1号

平成19年10月26日
豊田市 建設部 河川課



全体的に出た意見

1 河畔林について

- ・竹林(州)拡大で河川線形が変化し、護岸を削り危険
- ・州拡大で河畔林(主に竹林)が手におえない状況(人手不足)
- ・ダム湖河畔林では急斜面のため地元整備が困難
- ・ゴミが河畔林に蓄積され汚い。
- ・河畔林へ動物が山から下りてきて棲みつき、近隣の畑を荒らす
- ・河畔林により道路から河川風景が見えない。
- ・竹を利用しない生活など、河畔林と人との付き合い方が変化したため手入れされ難い状況である。

2 砂の問題について

- ・砂がたまる。州となり竹林が拡大するため州を取りたい(ダムの砂を取って欲しい)
- ・砂が減少。風景が変わった。
- ・元の砂場に戻りたい(ダムから砂を流して欲しい)

3 観光について

- ・生活圏と観光圏の住み分けが出来ていない。
- ・観光客のマナーが悪い。ゴミ捨て、違法駐車、公共施設(トイレ)を壊す等
- ・地元では観光需要が多くなる事は嬉しいことだが、観光だけの整備が過度になると管理が追いつかない。
- ・散策道や河畔林の伐採などの最低限の整備で、マナーが前より良くなった例もある。

4 道路の安全性について

- ・山側・河畔林側の樹木が張り出したり、道路が狭く危険な箇所がある。河川により護岸が削れ崩落している箇所もあり危険である。

河畔林とは？

家屋を水害から守り、美しい景観を提供する水辺周辺に分布する森林を河畔林といい、人々の生活に密接に関係すると共に、生物の貴重な生息域となっています。

5 災害時の消防取水について

- ・災害時に消防車へ水をくみ上げるための場所が欲しい

6 水質や河川水量について

- ・ダムが出来ると前のアユの棲みや美しい水に戻って欲しい。
- ・ダムによる土砂の影響が支流へ及び、支流河川環境が変化している。子供が遊べる環境にしたい。
- ・一日の内に水量が変化するため危険である。
- ・ダムに浄化機能を付け加えるなど技術的な対策が必要なのは。

7 高齢化・人手不足について

- ・高齢化による人口減少で、人手不足が懸念される。竹林整備や施設管理をどう行うかが問題となる。

河畔林

第1回ワークショップにおける各自治区の主な意見

第1回ワークショップにおける意見

各自治区それぞれのワークショップにおいて、参加されたみなさまから貴重なご意見を頂きました。ここでは、それらご意見の一部をご紹介します。

【大河原自治区】

- ・河畔林と人との付き合い方が変化したため、河畔林に手が入らなくなった。竹や現在利用に乏しい資料館を利用して体験工房を開くなど、伐採竹の利用を考えた。

- ・竹林を伐採し、オートキャンプ場として整備したい。地元だけでなく行政その他の運営・管理が必要

【下川口自治区】

- ・矢作川をメインとして地区内を回遊する散策道「さくらんぼ街道」を作りたい。
- （ベンチ等の休憩所）
- （遺跡を利用した水辺公園）
- （吊橋による対岸へのアクセス）

【御蔵自治区】

- ・護岸や道路の安全性に配慮した整備が必要だが、美しい河畔林はなるべく現状のままでよい。
- ・支流阿摺川を、一体的な「ヤマボウシの里」として子供が遊べる川にしたい。
- （河川に溜まった砂を取り人が近づける川に）
- （ヤマボウシの植林・繁茂した竹林の伐採や剪定）

【矢作自治区】

- ・大規模な河畔林（主に竹林）
- ・州は防災上、景観上好ましくない。

【笹戸自治区】

- ・伐採や撤去により川の流れを中央にし、矢作自治区側に散策道や駐車場を整備し安全で川に親しめる場所にした。
- ・河川敷公園は周辺設備や河畔林の伐採により更に活用していきたい。（吊橋の復元等）

- ・大規模な河畔林（主に竹林）・州は防災上、景観上好ましくない。
- ・伐採や撤去により川の流れを中央にし、安全で川に親しめる場所にした。
- ・河川敷公園は子供が安全に遊べる場所として再整備したい。
- （昔の沢や池、温泉、吊橋の復活）
- ・矢作川沿いの名勝等のPRサインや、駐車スペースを確保したい。
- ・生活圏と観光圏を住み分けるため、啓発サインの設置や公共施設のPRサインを設置してはどうか。

【小浪自治区】

- ・現在活用に乏しい河川敷公園は、活用を見直したい。
- （昔のスポーツ広場としての利用等）
- ・昔キャンプ場として利用されていた河川敷を利用できるように河畔林の整備を行う。
- ・自治区左岸側全域を、河畔林を伐採・剪定しサクラ等を植樹し、川を見せる「川見街道」として整備したい。
- ・河畔林に自生する薬草を調査し、

【浅野自治区】

- ・観光資源として地域活性化を図りたい。
- （薬草の調査や駐車場の設置、案内板の設置など）
- ・支流芥木川はコンクリート3面張りのため、多様な生物の棲める環境にしたい。

- ・現在活用に乏しい河川敷公園は、活用を見直したい。周辺河畔林を整備し内外からのビューポイントを形成したい。
- （滝・歩道橋の整備）
- ・大雨などによる水量増加で崩壊しやすい河川敷施設は、構造を強くしたり移設を考えた。
- ・ダム自体に浄化機能を付けるなど、水質改善対策を行って欲しい。



▲テーブル発表の様子

お問い合わせ

矢作川河畔林整備事業についてのご意見、ご感想をお気軽にご連絡ください。

豊田市 建設部 河川課（計画担当：早川、花田）

でんわ：0565-34-6672

FAX：0565-33-2460

◆カワセミはコバルトグリーンの美しい鳥で、川辺や石の上からダイビングして、水中の魚や水性昆虫をとらえます。
◆「かわせみ」は、豊田市が行う矢作川河畔林整備事業において、カワセミのように川に接する機会が多い地域のみならず、視点でとらえた意見をお知らせするために制作されました。

お知らせ

第2回ワークショップは、第1回で皆さまに語って頂いた「矢作川の想い」の代表的な意見を、事務局で選定し分かり易く絵や図で表現してきます。それを基に「こんなイメージが良い、もっとこんな感じだ、こうすればもっと良くなる」など更にイメージを具体的なものにしていける場になりたいと思います。

更にその夢を実現するため、優先的に進める整備の項目や、「行政がやるべきこと、住民が協力すること、行政と住民と一緒に作業していくこと」などの役割分担等の話も進めていきたいと思っております。皆さまのご参加お待ちしております。